

# 日中友好新聞

神奈川県連  
ニュース  
(付録)  
2018年  
8月5日

日本中国友好協会神奈川県連合会  
〒231-0062  
横浜市中区桜木町3-9 平和と労働会館  
TEL・FAX 045 (663) 0041

## 七夕の夕 中国琵琶演奏、講演に感動! 元気もらった!



中国琵琶の鮑捷さん

魅了された中国琵琶の演奏  
夕べの集いは加藤リカ県連常任理事の司会で進められ、初めに大森猛県連会長が開会の挨拶の後、鮮やかな青のチャイナドレスで鮑捷さんが登場。鮑捷さんは、中国琵琶と日本の琵琶の違いなど話しながら、



かながわ県民センターホールの会場風景

7月7日の七夕の夕、日中友好協会神奈川県連合会は、「もう一つの七夕」と銘打って、横浜駅西口かながわ県民センターホールで、「日中全面戦争80周年記念/音楽と講演の夕べ」を開催し、130人近い人が参加。中国琵琶奏者の鮑捷さんの力強く華麗な演奏、渡辺治一橋大名誉教授の改憲を阻み、アジアへ平和のアピールを訴える90分にわたる講演に参加者から感動と確信を持ったとの感想が寄せられました。

「イ族舞曲」「蘇州夜曲」「シルクロード」「川の流れるように」などを演奏しました。時には哀愁を帯び、時には激しく弦を打つ演奏は聴衆を魅了しました。

参加者に大きな確信と展望  
歯切れよく迫力あふれた渡辺氏の講演



講演する渡辺治氏

この後、一橋大学名誉教授の渡辺治氏が、「憲法・平和と戦後日本の岐路に立って」と題して約90分講演しました。

戦争法でも9条の縛り  
完全に取らぬ安倍改憲

渡辺氏はまず、国民の運動で改憲が阻まれてきたなかで、安倍改憲が戦後60年以上に渡る自民党の保守政党の宿願であることを強調。9条2項

が自衛隊の活動にたくさんさんの歯止めをかけており、解釈改憲による自衛隊の海外派兵や戦争法強行でも依然、9条の縛りがあり、それを突破するために今、明文改憲に挑戦している」と解明しました。

9条自衛隊明記論  
14つの重大な危険

渡辺氏はさらに、自衛隊を明記しても変わらないどころか、4つの危険が生まれるとして、①「武力に依らない平和」のメッセージの否定、②9条2項の死文化。③戦争法で大きく変質した自衛隊を合憲。④軍事組織が憲法に明記されると憲法がガラリと変わると強調しました。

9条改憲を阻み、東北アジアの非核化と平和を日本のイニシアチブで

渡辺氏は、南北会談、米朝会談など朝鮮半島の情勢の激変に触れ、朝鮮半島の非核化と平和への道は話し合いによるこの道しかない、9条改憲はこれに逆行すると明言。さらに、必要なのは、話し合いによる朝鮮半島の非核化と平和を不可逆的なものにし、朝鮮半島の方式を東北アジアに広げること、そして、改憲を阻み、日本のイニシアチブで、アジア全体の非核化、非軍事化を進めることだと強く訴えました。

市民の共同、もっとも大きな声で強く  
3000万署名を前に進めよう

渡辺氏は、今、全国で取り組まれてきた3000万署名が、戦争法の2000万署名に近づいているとし、さらに新たな人たちに訴えることの重要性を強調しました。

最後に渡辺氏は、改憲を阻むことが、世界とアジアへのアピールとなり、憲法が生きる日本への大きな第一歩になる、さらに本当に憲法が生きる日本をつくるために、市民と野党の共同の力で野党連合政権をつくらうと呼びかけました。

アンケート、募金への協力  
ありがとうございました。

会場でアンケート回答がたくさん寄せられました。「分かりやすかった」「勇気もらった」などの感想が多く寄せられました。また、「憲法9条は生きてるんだ」と言う言葉が心から納得いった。「安倍の『自衛隊を入れても』何も変わらない」と言う言葉が全くの嘘だ!と良く分かりました。などの感想も寄せられました。中国琵琶の演奏についても生の演奏を始めて聞いた。トレモロを始めとして、素晴らしい演奏。音に抑揚が付けられていて、中国音楽の雰囲気を楽しめた。鮑捷先生、謝!などの感想が出されました。



### 西日本豪雨被災者への 支援募金のお願い

西日本を中心とした記録的な豪雨は各地に甚大な被害をもたらしました。協会関係者の無事は確認されましたが、倉敷市真備町や広島市南区丹那町の協会関係者が避難生活を強いられるなど、各地で少なからぬ被害が生じています。連日の猛暑も復旧の歩みを妨げており、被災者は未だに困難な状況に置かれています。

日中友好協会は、この西日本豪雨被災者の支援にあてる募金の取り組みを決めました。この支援募金は協会本部がとりまとめ、被害の大きかった被災地の協会組織を窓口にして、協会関係者、留学生をはじめとした在日中国人、一般被災者の支援にあてることとします。

全国の日中友好協会関係者の皆さんのご支援を心からお願い申し上げます。

#### 【募金の送金先】

日中友好協会神奈川県連合会又は  
下記の日中友好協会本部の口座へ

(日本中国友好協会本部の口座)

●郵便振替口座

口座番号

00110-1-21176

口座名義 日本中国友好協会

※通信欄に「西日本豪雨被災者支援募金」である旨をご記入下さい

西日本豪雨被災者の皆様にお見舞い申し上げます。

○後援団体に中国大使館、藤沢市などとともに日中友好協会、同神奈川県連など入っています。

主催 ● NPO法人法人東方文化交流会  
共催 ● 東方文化芸術団

### 田漢生誕120周年記念 日中平和友好条約締結40周年



田漢 中国国歌  
作詞者

中国国歌「義勇軍行進曲」作詞者。1916年から7年、東京高等師範大学に留学。文化大革命で逮捕投獄され獄死。その後名誉回復。



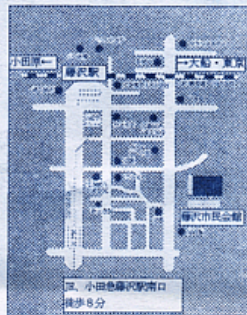
聶耳 中国国歌  
作曲者

1935年中国国歌「義勇軍行進曲」作曲後、来日。同年7月17日鶴沼海岸で遊泳中に死去。戦後、彼の功績を讃え、藤沢市民が「聶耳記念碑」を建立。

日時 8月8日(水)午後1時  
出演 日中県連も招聘した中国の芸術家をはじめ内外の芸術家・団体  
会場 藤沢市民会館大ホール  
チケット料金 1000円

## 8・8日中音楽交流の集い

田漢・聶耳特別記念コンサート



### 「無人区 長城のホロコースト 興隆の悲劇」

仁木ふみ子著 青木書店

承德の水泉溝というのは、日中の旅行会でも訪れたことがあり、ご存知の方は少なくないと思う。あそこでは3万とも言われる人々が憲兵隊の手で殺されている。何処から連れて来られたのだろうか？

題名にある「無人区」とは何だろうか？

ベトナム戦争の時、米国の軍隊の侵入に対してベトナムの人々は抵抗し、解放军を陰に陽に支援する。米軍にとって四囲全てが敵と見える。解放军に食料・生活物資を渡さないために広い範囲の村々を集め、一か所に固めて柵の中に閉じ込める。戦略村である。

1933年日本軍は満州を広げるべく熱河省を攻略するが、長城周囲の山岳地帯で苦戦し、大きな犠牲を払う。その後も攻略を繰り返す。占領地を広げていくが、この山岳地帯は抗日軍にとって戦い易く、日本軍にとって厄介な土地であった。

筆者の仁木さんが調査した興隆県は、長城の北側に沿う県である。多数の川が入り組み、川沿いに上流まで点々と村と耕地が続く。この村々の人を全て下流の村に集め、村も耕地も果樹園も山林も焼き払い、抗日軍の活動の場を奪って、兵糧攻めを狙った。これが「無人区」である。



元々上流の村は、下流の耕作地が不足なので

の人々を、各地の鉱山等に政治犯として送るほか、裏山で殺した。これが承德水泉溝の万人坑である。鉱山等に送り込まれた人々は、殆ど各地の万人坑に眠り、戻ってこなかった。中には「特移扱」となり731に送られた例もある。

仁木さんは興隆県の多数の川筋を下流から上流まで一つ一つ丹念に尋ね歩き、膨大な証言を得る。また日本側の敗戦時に焼却し損ねた資料や撫順戦犯法廷の証言等を基に、憲兵隊の組織や犯罪内容も明確にしている。

更に外国の目の届きにくいこの地域の村々が、731の病原菌散布実験や、毒ガスの実験に使われた疑いも指摘している。本は横浜中央図書館に1冊あります。(福島豊)



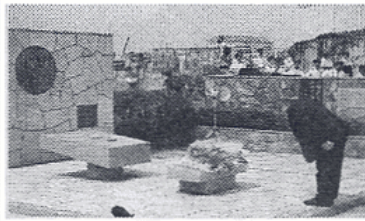


### 中国国歌

## 聶耳の追悼碑前祭に参列・献花

日中県連 湘南支部役員ら

中国国歌「義勇軍行進曲」の作曲者、聶耳の命日にあたる7月17日、藤沢市の聶耳記念碑広場で、聶耳を追悼する碑前祭が開催され、県連から大森猛県連会長、大橋一夫、山内幹郎両



聶耳碑に献花する大森会長

湖南支部副支部長ら6名が参列しました。聶耳は、1935年、義勇軍行進曲を作曲後来日し、7月17日、鵠沼海岸を遊泳中に水死しました。碑前祭では藤沢市消防音楽隊による「義勇軍行進曲」の演奏のなか、黙禱。鈴木恒夫藤沢市長、梁林中中国大使館経済参事官らが追悼の挨拶をしました。

この後、参列者の献花に入り、鈴木市長、梁参事官らに続き、大森会長も指名され、献花しました。式終



碑の前で全員の写真

了後、大森会長、牧野事務局長は、大使館の梁参事官らと挨拶を交わしました。日中県連、湘南支部は、この碑の建立に尽力し、現在も碑の清掃活動などにも協力しています。

### 盧溝橋事件

## 7・7不戦・平和の宣伝、署名「横浜桜木町」

中国全面戦争のきっかけとなった1937年7月7日の盧溝橋事件にちなみ、日中県連は、7月7日午後4時からJR桜木町駅前広場で不戦・平和の宣伝と安倍改憲ノー3000万署名行動を行い、大森会長、増田恒雄顧問ら8名が参加しました。

田顧問がマイクを握り、盧溝橋事件をきっかけに始まった中国への全面的な侵略戦争によって、中国民衆にはかり知れない苦しみを与えたことを訴えました。そして、歴史の事実をしつかりと見て、再び日本を戦争する国にしようとする安倍改憲を批判。3000万署名への協力を呼びかけました。



横断幕を広げ訴える大森会長ら。

## 「ニエアル・雲南・世界史」の講演会 山田氏招き湘南支部が開催「山内副支部長のブログより」



日中友好協会湘南支部の例会では、哲学者で古代史研究者の山田宗睦先生を招いて、「ニエアル・雲南・世界史」と題して、講演会を開きました。お話は幅広い内容のものでした。

- ①元葉山市長らと雲南省昆明を訪れたときの話
- ②上海で隠れて住んでいたニエアルの木造の二階の部屋を探した話
- ③昆明で聴いたニエアルの曲—これは「後で市を通じて昆明市に要望すれば貰えるのではないか」と提案されました。
- ④雲南省における少数民族のこと
- ⑤雲南省と日本の植物の共通性は照葉樹林—これは「中尾佐助 栽培植物と農耕の起源」の本に詳しいとのこと
- ⑥日本の「いざなぎいざなみ」の語源を歴史言語学で調べると、雲南省の北から南へ移った民族のオーストロネシア語に行き着いた。
- ⑦これとはもう一つ異なるシベリアからのツングース語がある。
- ⑧世界史は、西洋史と東洋史に分けるが、実はその間に中央ユーラシアをまたぐ印洋語・トカラ語が存在したが、彼らは文字記録を持たなかった。
- ⑨支配者は変わっても民は残る
- ⑩4大文明論から説明するのではなく、米・麦、食物農耕の起源から分析することが正しい
- ⑪歴史は一色ではない。騎馬民族征服説も正しくない
- ⑫森安 孝夫氏のシルクロードと唐帝国 講談社学術文庫 が、唐の歴史に詳しい。(以下略)



# 松江抗戦紀念館を訪ねて

県連常任理事 大橋一夫

2018年4月に上海の「淞滬抗戦紀念館」に行つて来ました。

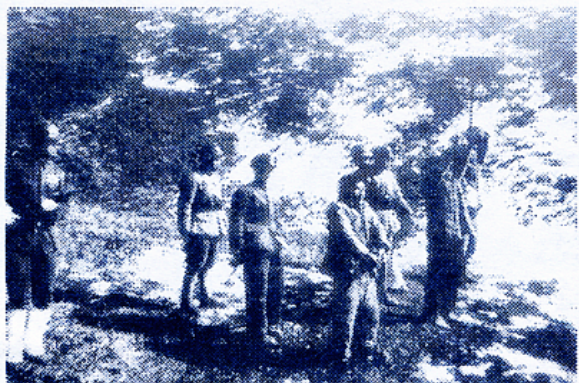
当地は、1937年の第二次上海事変の激戦地です。7月7日に北京郊外で発生した「盧溝橋事件」は4日後には現地の日本軍と中国軍の間で「休戦協定」が成立したにもかかわらず、上海などに駐留していた日本軍は中国軍と戦闘を始めました。東京の日本軍本部は日本からの兵員の増派を早々と7月11日に決定しました。1931年の柳条湖事件以来、日中両軍のせめぎ合いが続いていましたが、第二次上海事変から泥沼の日中戦争が本格化しました。上海に駐留していた日本軍兵士、当地の沖に停泊した日本軍艦からの砲撃および追加投入する日本兵の上陸により、この付近は大激戦となりました。当初、大部隊を配置した中国軍は優勢で日本軍は9月末までに2500人の戦死者と7000人の戦傷者を出し、その責任を取つて石原莞爾参謀本部第一部長が9月27日に更迭されました。

10月に入り、中国各地から呼び集められた日本軍、11月5日には上海の南約60kmの杭州湾から上陸した日本から増派の大軍が南北から中国軍を挟み撃ちにすることににより上海は陥落しました。首都南京に向けて敗走する中国軍に日本軍の各部隊は、先を争うように一日に30kmもの快進撃した日もあったとのことです。12月中旬には首都南京も陥落し、以後1ヶ月半の間に「南京虐

殺」が起りました。

館内展示されていた写真です。南京虐殺に關連し「百人斬り」の野田毅(当時陸軍少尉)と向井敏明(当時陸軍少尉)、および、「三百人斬り」の田中軍吉(当時陸軍大尉、第9師団中隊長)の3人が国民党政府により開かれた南京軍事法廷の有罪判決による南京の雨花台での銃殺刑執行直前の写真です(1948年1月28日執行)。

この紀念館の周りは公園になっていて、館内にはカフェテラスもあり散歩後のコーヒープレークにも最適です。上海歴史探訪には外せないオススメ・スポットです。



淞滬抗戦紀念館展示の野田少尉らの刑執行前の写真

## 中国は私の平和運動の原点

横浜西南支部会員 望月 澄子

私が北海道の広大な大陸を好むのは母の胎内にいる時、中国東北地方(旧満州)の空気の中にいた事と生後三歳まで大陸で育つたことが影響しているのではないかと勝手に思っている。生まれた地域が故里というならば、私は故里を持たない。幻の国、偽満州と言われ今は存在しない国だからである。かわりに北海道を心の故里にしている。

私は一九四三年、奉天市(今の瀋陽市)朝日街に生まれた。父は満州に進出していた民間企業の建築技師だった。一九四五年八月十五日を境に多くの在満日本人が遭遇した悲劇に父母も遭い、からくも日本に引き揚げてきたがその後も苦労は絶えなかった。

私は中国からの逃避行の話を幼い時から聞かされて育つた結果、「戦争は嫌だ」と心から思うようになり、今日の平和運動に携わる原点になった。私が心痛めるのは「中国残留孤児」である。自分も孤児になって中国の養父母に育てられていたかもしれないと思うと人ごとではないのである。



そう思いつつも月日が経つてしまい、孤児たちの支援活動も中国への恩返しもしてこなかった。

一時、中国語学習に挑戦したがあの四つのアクセントに挫折し、成果はゼロである。二〇数年前、女性団体主催の「中国の旅」に参加し、戦争遺跡を巡った。日本では加害の事実を知らせないが、被害を受けた国にしてみれば決して忘れないうという事を肌身に感じ、日本人として深く陳謝した。また自分の生まれた場所を確認できた。

出来ればもう一度中国を訪れたいと思う。山峡もダムができてしまったらしいが中国の大自然を満喫出来たらと思つている。(写真「満州」での母と私)

## 私と中国



# 各支部の取り組みから

## 旺盛に映画会に

### 取り組み「西さがみ支部」

西さがみ支部は、9条改憲、北朝鮮問題などの学習会などを行うとともに6月、7月

旺盛に映画会を行いました。

以下、6月、7月西さがみ支部が行った映画会の内容(予定含む)です。

※※※

1、6月25日(月)

#### 「コスタリカの奇跡」

1948年に軍隊を撤廃して以降、軍隊なしで平和と安全を守り、教育費も医療費も無料という福祉国家を

実現してきた中米コスタリ

カに迫ったドキュメンタリー

映画「コスタリカの奇跡―

積極的平和国家の作り方―

2、7月1日(日)

#### 「マイケルムーアの世界侵略のススめ」

略のススめ

1月上映に続き、好評につき再上映

3、7月16日(月)

#### 「阿媽の秘密」

台湾シリーズ第二弾。

台湾シリアーズ第二弾。

タイワンの元日本軍「慰安

婦」だった阿媽(アマー台

湾語でおばあさん)の証言

のドキュメンタリー映画。

#### 「葦の歌」

前記と同じ婦女救援会制作

の阿媽たちの記録映画。

4、7月26日(木)

「心の香り」  
1992年 中国映画。

## 県央、横浜西南支部 それぞれ総会を開催

○県央支部は7月12日、第

14回の支部総会を開催し、

萬納佑平支部長代行ら役員

の選出と新年度の運動方針

を決めました。

県連から菅野副会長が出席

し、挨拶しました。

○横浜西南支部は、7月2

日、第6回支部総会を開催

し、田中栄支部長ら役員

の選出と2018年度運動方

針などを決めました。

県連から、大森会長、増

田顧問が出

席し、挨拶

しました。



## 終戦記念日・映画会

### 父と暮るる母がばあ

2004年作品 原作 井上ひさし

監督 黒木和雄 出演 宮沢りえ 原田芳雄

○日時 8月15日(水)

午後6時

○会場 横浜市民活動支援

センター4階

○資料代 300円

主催 日中県連

当日午後4時から桜木町駅前で宣伝・署名行動を行います。ご協力をよろしくお願い致します。